

「古橋家本宅新座敷を飾る小川珊鶴雛人形コレクション展」を開催いたします

稲武町（現愛知県豊田市）で 300 年以上の歴史がある豪農古橋家を母体とする一般財団法人古橋会は、これまで歴史民俗資料館「古橋懐古館」を運営するなど、文化財や山林などの所有資産や地域資源を磨き上げて、持続可能な社会の実現と文化振興のために活動しています。

このたび、2022 年 4 月 1 日（金）～3 日（日）に、古橋家本宅新座敷にて花道家・小川珊鶴（おがわさんかく）様の雛人形コレクションと古橋家里帰り雛の特別公開展示を行います。

新型コロナウイルスで外出もままならない昨今、桜が満開となる中山間地域の豊かな自然を感じていただきつつ、文化やアートにも触れることができる春の週末をご提案したいと考えています。

古橋家本宅新座敷を飾る小川珊鶴雛人形コレクション展

日 時：2022 年 4 月 1 日（金）～ 4 月 3 日（日） 午前 10：00～午後 4：00

場 所：古橋懐古館敷地内 古橋家本宅新座敷（ポスター看板が目印です）

愛知県豊田市稲武町タヒラ 8 番地

※古橋懐古館の駐車場をご利用ください。

料 金：入場料無料で事前申込み不要です。入退室も自由です。



詳細は HP をご覧ください

高松宮殿下が御宿泊された古橋家本宅新座敷を特別公開



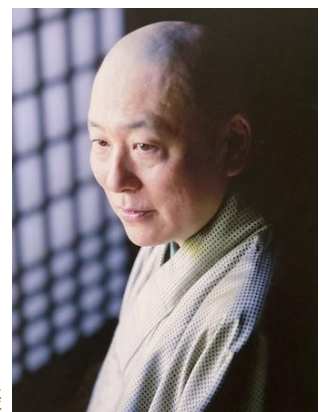
古橋家本宅（本体は江戸時代建築）の新座敷は、藤波言忠という明治天皇の側近を古橋家に招待した明治 40 年（1907）に建築された建物です。

昭和 28 年（1953）年 11 月 10 日、山崎延吉（愛知県安城農林学校初代校長）を通じて、**高松宮殿下が財団法人古橋会の事業や稲武地区をご視察された際にご宿泊された由緒正しい座敷**でもあります。

高松宮殿下の記念撮影

花道家・小川珊鶴様とコラボレーション

小川珊鶴様は、1959 年名古屋市に生まれ、名古屋芸術大学美術学部日本画科卒業後、「平成芸術花院」を主宰。**伝統を踏まえつつも独創的な生け花と鮮烈なアート表現を得意とされ、国内外多方面で活躍**されています。2017 年より稲武地区に移住され、「いなぶの里五節供プロジェクト」を創設されました。稲武の小川珊鶴邸でも、2 月～3 月の日曜祝日を中心に、雛人形コレクション展が開催されています。



小川珊鶴様

古橋家伝来の「里帰り雛」も特別展示



明治 32 年（1899）に、古橋家七代当主の古橋源六郎義真（よしざね）が三好村の柴田家に嫁いだ長女の子の誕生に贈ったものです。三好村の柴田家から、古橋懐古館の昭和 46 年（1971）の全面オープンに合わせて帰ってきたため、**約 75 年ぶりに実家に帰ってきたお雛さまということで「里帰り雛」と呼ばれています。**

里帰り雛

（担当：古橋真人 常務理事、張艶 学芸員）